

令和8年1月第1回市長定例記者会見

- ・日時 令和8年1月13日(火)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 令和7年度一般会計補正予算（第6号）案のフレーム（資料1）
- 2 令和8年度から渋川市立小中学校の長期休業期間の設定を変更します（資料2）
- 3 性の多様性を理解するセミナー～こどもの“らしさ”を守るために
大人ができること～を開催します（資料3）
- 4 子どもに伝える心のバリアフリーセミナー～“なんであの子は違うの？”への
答え方を、共に考える120分～を開催します（資料4）

その他資料提供

- ・令和7年度第3回市政モニターアンケートの実施結果をお知らせします（資料5）
- ・しぶかわ推し第1弾（料理・菓子・加工品）で新たに2品が認定されました
（資料6）
- ・渋川市20周年記念事業 令和7年度上毛かるた競技渋川大会を開催します（資料7）

○次回開催予定

日時：令和8年1月26日(月) 午後1時
場所：渋川市役所本庁舎2階 記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
1月13日(火)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
	終了後	渋川市まちづくり財団理事長記者会見	市役所本庁舎	政策戦略課
	14:30	新年度予算 市長査定	市役所本庁舎	財政課
1月14日(水)	9:00	新年度予算 市長査定	市役所本庁舎	財政課
	14:00	部落解放同盟 2025年度 統一市町村交渉実施要請	市役所第二庁舎	地域包括ケア課
	14:30	新年度予算 市長査定	市役所本庁舎	財政課
	19:00	三師会新年懇談会	プレヴェール渋川	健康増進課
1月15日(木)	9:00	新年度予算 市長査定	市役所本庁舎	財政課
	11:30	紺綬褒章伝達式	市役所本庁舎	秘書室
	13:00	車椅子の寄附受入式	市役所本庁舎	地域包括ケア課
	13:30	第2回フードドライブ目録の受領	市役所本庁舎	環境森林課
	14:00	新年度予算 市長査定	市役所本庁舎	財政課
	18:00	渋川北群馬保護区保護司会新年祝賀会	プレヴェール渋川	地域包括ケア課
	18:30	渋川ライオンズクラブ・渋川中央ライオンズクラブ合同新年例会	ヘルシーパル赤城	産業政策課
1月16日(金)	9:00	新年度予算 市長査定	市役所本庁舎	財政課
	13:30	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	16:00	群馬県行政書士会・日本行政書士政治連盟群馬県支部新年賀詞交歓会	エテルナ高崎	秘書室
	17:30	渋川管工事協同組合新年会	越中屋	総務経営課
	18:00	渋川LPガス協会新年会	プレヴェール渋川	産業政策課
1月17日(土)	10:00	半田地区道祖神祭り	半田地内	市民協働推進課
	12:00	熊野町自治会新年会	熊野町会館	市民協働推進課
1月18日(日)	10:30	渋川市消防出初式	市民会館小ホール	危機管理室
	13:00	渋川市聴覚障害者福祉協会合同新年会	プレヴェール渋川	地域包括ケア課
	15:00	(一社)全国心臓病の子を守る会群馬県支部との懇談会	渋川ほっとプラザ	地域包括ケア課
1月19日(月)	10:00	令和8年第1回渋川市議会臨時会	市役所本庁舎	議会事務局

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
1月19日(月)	10:00	令和8年第1回渋川市議会臨時会	市役所本庁舎	議会事務局
1月20日(火)	9:30	長寿者顕彰	市内	高齢者安心課
	13:00	新年度予算 市長査定	市役所本庁舎	財政課
	18:00	渋川市遺族会新年会	ヘルシーパル赤城	地域包括ケア課
1月21日(水)	9:00	新年度予算 市長査定	市役所本庁舎	財政課
	13:00	新年度予算 市長査定	市役所本庁舎	財政課
	19:00	(一社)渋川青年会議所新年会	プレヴェール渋川	産業政策課
1月22日(木)	10:00	渋川警察署初点検	渋川警察署	危機管理室
	13:00	新年度予算 市長査定	市役所本庁舎	財政課
	17:30	第13回渋川地区こども保健会講演会及び意見交換会	プレヴェール渋川	こども支援課
	19:00	渋川市消防団新年会	ホテルきむら	危機管理室
1月23日(金)	9:00	新年度予算 市長査定	市役所本庁舎	財政課
	13:00	新年度予算 市長査定	市役所本庁舎	財政課
	17:30	(一社)群馬県建設業協会渋川支部賀詞交歓会	プレヴェール渋川	土木管理課
	18:00	渋川市アマチュア無線非常通信協議会新年旗開き式	市役所第二庁舎	危機管理室
	19:00	渋川商工会議所青年部新年会	プレヴェール渋川	産業政策課
1月24日(土)	11:00	第3回子どもたちとつくる音楽会	榛東中学校	秘書室
	17:00	群馬県空手道連盟創立60周年記念式典・祝賀会	ラシーネ新前橋	スポーツ課
1月25日(日)	13:30	私たちの食品ロス削減取組コンテスト表彰式	市民会館小ホール	環境森林課
1月26日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	ゴコウ(株)との災害時におけるレンタル資材の提供に関する協定締結式	市役所本庁舎	危機管理室
	終了後 14:30	市長定例記者会見 広域組合管理者・副管理者会議	市役所本庁舎 広域組合大会議室	広報室 広域組合

資料1

令和7年度 一般会計補正予算(第6号)案のフレーム

(千円)

歳 出	歳 入
1 【新】物価高騰対策事業 908,020 (1) 全市民に渋Payカードを配布 605,956 全市民を対象に、市内の登録店で利用できるしぶかわ電子地域通貨「渋Pay」ポイントを8,000円相当付与したカードを配布 (2) 水道基本料金を減免 129,795 一般家庭等を対象に、水道の基本料金を6カ月間減免(水道事業会計に対する補助) ・対象者: 量水器口径13mm・20mmの使用者 ・減免対象: 令和8年6月～11月検針分 ・減免内容: 半額免除 (3) 子育て世帯に手当を支給 172,269 平成19年4月2日から令和8年3月31日までに生まれた児童を対象に、1人につき2万円の手当を支給 2 クマ被害防止対策に伴う用品を購入 506 国が推奨するクマ被害対策パッケージに基づき、クマの被害防止施策に従事する渋川市鳥獣被害対策実施隊員の人身被害防止のため、クマ撃退スプレーを購入 3 人事院勧告に伴う人件費の増額 213,156 4 その他 6,350 人件費の増額に伴い特別会計への繰出金を増額	1 国庫支出金 904,444 (1) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 730,039 (2) 物価高対応子育て応援手当支給事業費補助金 169,480 (3) 物価高対応子育て応援手当支給事務費補助金 2,957 (4) 人件費の増額に伴う国庫支出金の増額 1,968 2 県支出金 479 (1) 有害鳥獣対策事業補助金 421 (2) 人件費の増額に伴う県支出金の増額 58 3 繰越金 223,109 前年度繰越金
1,128,032	1,128,032

※計数整理により金額が変動する可能性があります

補正前予算額 39,481,205千円



補正後予算額 40,609,237千円

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：財政課（電話0279-22-2414）

課長 荒井 啓充（内線2150）

財政係長 平林 徹哉（内線2149）

令和8年度から渋川市立小中学校の長期休業期間の設定を変更します

渋川市は、近年の夏季の酷暑等の状況を受けて、市立小中学校の長期休業期間の設定見直しについて検討してきました。その結果、令和8年度から夏季休業期間を5日延長し、冬季休業期間を1日短縮することに決定しました。

1 経 過

近年の夏季における酷暑により、児童生徒の授業活動中や登下校時における熱中症事故防止などの安全確保が喫緊の課題となっています。また、中学校の部活動等で8月末まで大会を実施している現状があり、生徒と教職員が2学期の準備を整えてから始業日を迎えられるようにする配慮が必要になっています。

渋川市は、令和6年度に各校の学校運営協議会において、児童生徒の安全面を第一に考えている旨を説明した上で、地域住民と保護者の代表から、夏季休業日の延長についての意見聴取を実施しました。その結果、夏季休業期間を延長することのメリット・デメリットについて、様々な観点から多くの意見をいただきましたが、児童生徒の安全を第一に考え、近隣市町村の動向も踏まえて、夏季休業期間の延長に向けた準備を進めることになりました。

準備段階においては、これまでと比較して、夏季休業期間を5日延長し、授業時数確保のために冬期休業期間を1日減ずる設定としました。この設定に対する授業時数の確保について、令和7年度に各校で試算を行った結果、全ての学校において確保が可能なが分かりました。また、これまで渋川市独自の不登校対策として取り組んできた、学期始めの授業軽減措置（ゆとり期間）についても、各校によって多少の差はありますが、継続できる見通しが立ちました。

これを受けて、令和7年10月29日に行われた10月定例教育委員会において「渋川市立小学校及び中学校管理規則の一部改正」を上程し、議決されたことから、令和8年度から渋川市立小中学校の長期休業期間の設定を変更することになりました。

2 変更内容

(1) 夏季休業期間

- ・現 行＝7月21日～8月26日（37日間）
- ・変更後＝7月21日～8月31日（42日間）※5日増

(2) 冬季休業期間

- ・現 行＝12月24日～翌年1月6日（14日間）
- ・変更後＝12月25日～翌年1月6日（13日間）※1日減

※各休業期間後に、各校の実情に合わせて不登校対策として「ゆとり期間」を設定します。具体的には、新学期開始の数日間は、給食後下校する等の授業軽減を行います

3 今後の対応

(1) 保護者への説明

夏季休業期間を延長することにより、家庭の負担が増加することから、期間の延長について、教育委員会から保護者向け通知を12月中旬に発出し、周知を行いました。

(2) 教職員への説明

各校において管理職を通じて教職員への周知を行うとともに、令和8年度における年間行事予定の見直しを行います。

(3) 関係機関との調整

夏季休業期間の延長に合わせて、夏季休業中の児童の居場所となる学童の運営日を増やしてもらうことについて、関係機関との調整を行います。

参考

1 渋川市独自の不登校対策「ゆとり期間」について

渋川市の小中学校では、独自の不登校対策として、児童生徒の精神的な負担を軽減するために、学期始めに授業軽減措置として「ゆとり期間」を設定しています。

各学校の実情に合わせて多少の差はありますが、2～3日程度設定している学校が多くなっています。

また、長期休業明けの「ゆとり期間」の設定は、教職員にとっても長期休業期間中の宿題を確認する事務処理時間の確保になり、働き方改革の一助ともなっています。

2 教育課程の編成・実施にかかる国・県の通知への対応

平成30年度公立小中学校等における、平成31年3月29日付で文部科学省から教育課程の編成・実施について通知が出されており、以下の3点が求められています。

- ①各学校の指導体制に見合った授業時数を設定する必要がある。
- ②標準授業時数を確保しつつ、不測の事態に備えることのみを過剰に意識して標準授業時数を大幅に上回って教育課程を編成する必要はない。
- ③令和2年から全面実施される学習指導要領で標準授業時数が増加することを踏まえて、学校における働き方改革に配慮した対応を検討することが重要である。

3 県内12市及び中部管内町村の夏期・冬季休業期間（令和7年度時点）

(1) 夏期休業期間

①7月21日～8月31日＝前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、館林市、富岡市、安中市、みどり市、吉岡町、榛東村、玉村町

②7月21日～8月28日＝藤岡市

③7月21日～8月26日＝沼田市、渋川市

(2) 冬季休業期間

①12月25日～1月6日＝前橋市、伊勢崎市、館林市、吉岡町、榛東村、玉村町

②12月24日～1月6日＝太田市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市

③12月25日～1月7日＝桐生市、沼田市

④12月26日～1月6日＝高崎市

■問い合わせ先

教育部 部長 西脇 正悟（内線4930）

担当：学校教育課（電話0279-22-2121）

課長 金子 芳之（内線4910）

次長 松岡 大樹（内線4912）

資料3

性の多様性を理解するセミナー～こどもの“らしさ”を守るために大人ができること～を開催します

お互いの「自分らしさ」を認め合い、誰もが自分らしく生き生きと生活できる社会づくりに向け、令和8年2月8日(日)に渋川市子育て支援総合センターにおいて、性の多様性を理解するセミナーを開催します。

1 概 要

渋川市は、令和6年4月に施行した「渋川市男女共同参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」に基づき、多様な個人が互いに尊重される社会の実現に向けた取り組みを進めています。

性の多様性に関する社会的認知は、広がりつつありますが、当事者が抱える悩みや困難は周囲から見えにくく、家庭や日常生活の中での理解や関わり方に悩む声も少なくありません。

今回、参加者が性の多様性についての理解を深めるとともに、「性の多様性とは何か」「どのように関わるのが望ましいのか」といった視点を共有し、子どもへの伝え方や、子どものセクシュアリティの受け止め方について考えるきっかけとするセミナーを開催します。

2 内 容

LGBTQ+をはじめとした多様な性のあり方について、基礎的な知識を分かりやすく解説するとともに、当事者による体験談を通して、日常生活や家庭の中での具体的な関わり方を学びます。

子どもからの問いかけや相談にどのように向き合えばよいのか、また、子どもたちが安心して成長できる環境づくりのために大人ができる配慮や声掛けについて考える機会となるものです。

3 開催日時 令和8年2月8日(日) 午前10時～11時30分

4 開催場所 渋川市子育て支援総合センター 多目的ホール(渋川市渋川1338-4)

5 講 師 一般社団法人ハレルワ

6 対 象 どなたでも参加できます

7 定 員 30人程度(先着順)

8 参加料 無料

9 申込方法

- (1) 氏名、年齢、住所、電話番号を、電話（0279-25-8419）またはメール（mirai@city.shibukawa.gunma.jp）で政策戦略課へ
- (2) 市ホームページの専用応募フォームからの申し込み

※応募フォームはこちら▶



10 申込期限 令和8年1月30日(金)

11 その他

託児（定員4人）や移動の介助、手話通訳等を希望する人は、事前に相談してください。

参考

1 一般社団法人ハレルワについて

平成27年に群馬県初のLGBTQ支援団体として発足し、当事者の居場所づくりや交流会の開催、講演・イベント等の啓発活動、行政・企業・他団体と連携した活動、相談事業などを行っています。（令和4年 一般社団法人化）

団体名の由来は、“感謝”や“歓喜”を表す『ハレルヤ』と“繋がる”という意味の『輪』を合わせたもので、「セクシュアルマイノリティの理解の輪が広がるように、そして、それに感謝する。」という意味が込められています。

2 性の多様性を理解するセミナーの開催実績

- ・平成29年度 1回：参加者39人（市職員対象）
- ・平成30年度 2回：参加者65人（市民・市職員対象）
- ・令和元年度 1回：参加者35人（市職員対象）
- ・令和2年度 1回：参加者26人（市職員対象）
- ・令和3年度 1回：参加者22人（市職員対象）
- ・令和4年度 1回：参加者26人（市職員対象）
- ・令和5年度 1回：参加者30人（市民対象）
- ・令和6年度 1回：参加者121人（渋川北中学校3年生）

3 多様な性を理解するリーフレットについて

多様な性を理解し、認識を深め、誰もが自分らしく生き生きとした人生を送れる社会の実現に向けて、令和4年10月に一般社団法人ハレルワ監修のもと、リーフレットを作成しました。

このリーフレットは、浜川市内の中学2年生及び市内小中学校の教職員を対象に配布しているほか、各公民館や図書館にも設置し、市ホームページでも公開しています。



■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-25-8419）

課長 小野 篤史（内線2420）

未来戦略係長 齋藤 大輔（内線2423）

「性の多様性」って、なに？
「男らしさ」「女らしさ」じゃなくて
「自分らしさ」を尊重するためには…？



子どもの“らしさ”を守るために
大人ができること

性の多様性を 理解するセミナー

託児あり！※要予約

参加 2.8 日 10:00 ~ 11:30
無料 会場 渋川市子育て支援総合センター

専門的過ぎない
分かりやすい
内容です！

LESSON

①

LGBTQ+
の基礎知識

LESSON

②

体験談から
学ぶ関わり方

LESSON

③

子どもの気持ち
の受け止め方

わたしたちが講師
です！



(一社)ハレルワ

申込方法等

氏名、年齢、住所、電話番号を電話またはメールでご連絡ください。
右記の二次元コードからお申込みいただけます。

＜申込期間＞令和8年1月9日(金)～30日(金)

＜対象・定員＞30人程度(先着順)どなたでも参加いただけます。

お申込み
お問合せ

☎ 0279-25-8419

✉ mirai@city.shibukawa.gunma.jp

申込みはこちら！



詳しくはこちら！



子どもに伝える心のバリアフリーセミナー ～ “なんであの子は違うの？” への答え方を、 共に考える120分～を開催します

社会の中にある障壁（バリア）をなくし、全ての人が暮らしやすい共生社会の実現に向け、令和8年2月15日（日）に渋川市子育て支援総合センターで、親子で参加できる心のバリアフリーセミナー（DET研修）を開催します。

1 概 要

令和6年4月から、事業者による障害のある人への「合理的配慮の提供」が義務化されるなど、障害に対する認識や理解は、制度面を中心に広がりつつあります。一方で、家庭や地域など日常生活の場面では、「子どもに“なんであの子は違うの？”と問われたとき、どう伝えればよいか分からない」といった戸惑いの声も少なくありません。

渋川市は、社会の中にある障害や差別、偏見をなくし、全ての人が暮らしやすい共生社会の実現に向け、障壁（バリア）を捉える視点と行動を育むDET（障害平等）研修を、令和2年度から学校や団体、市民向けに継続して実施してきました。こうした取り組みを家庭や地域へと広げていくため、今回は、子どもへの伝え方をテーマの一つとして、それぞれの立場や生活の場で実践できる「心のバリアフリー」を考えるセミナーを開催します。

このセミナーでは、障害当事者と参加者が対話やグループワークを通じて、社会にある障害やバリアの捉え方を共に見つめ直し、身近な人への関わり方について考えます。家庭での気づきや対話にもつながる内容としており、子ども同伴での参加も可能です。

2 内 容

障害当事者との対話やグループワークを通じて、障害を捉える視点やバリアを解消するための具体的な行動について、当事者と参加者が共に考える機会となるものです。お子さんや身近な人から「障害とは何か、どこにあるのか」と聞かれたとき、どのように答えればいいのかをこのセミナーを通して参加者自身が考え、気づきを得て、共にその答えを見つけ出します。

3 DET（障害平等）研修とは

障害者自身がファシリテーターを務め、参加者との対話、視覚教材、グループワークを通じて、社会の中にある様々な障害を見抜く力を養うとともに、「障害は個人の問題」という意識から、「障害は周囲の環境を皆で変えることにより解決していく問題」という意識への転換を図り、解決に向けた行動の形成につなげるワークショップ型の研修です。

- 4 開催日時 令和8年2月15日(日) 午前10時～正午
- 5 開催場所 渋川市子育て支援総合センター 多目的ホール(渋川市渋川1338-4)
- 6 講師 DET群馬
- 7 対象 どなたでも参加できます(補足) お子さま同伴での参加可能です。
- 8 定員 30人程度(先着順)
- 9 参加料 無料

10 申込方法

- (1) 氏名、年齢、住所、電話番号を、電話(0279-25-8419)またはメール(mirai@city.shibukawa.gunma.jp)で政策戦略課へ
- (2) 市ホームページの専用応募フォームからの申し込み

※応募フォームはこちら▶



- 11 申込期限 令和8年1月30日(金)

12 その他

託児(定員4人)や移動の介助、手話通訳等を希望する人は、事前に相談してください。

参考

1 DET群馬について

「DET群馬」は、「DETフォーラム(特定非営利活動法人 障害平等研修フォーラム)」の養成講座を修了したファシリテーターを中心に結成された団体です。

障害の有無に関わらず、多様な人々が暮らしやすく、働きやすい、誰もが自分の住む地域で安心して生活できる「共生社会」の実現を目指し、県内外で活動しています。

2 DET研修の開催実績

- ・令和2年度 7回：参加者193人
- ・令和3年度 8回：参加者351人
- ・令和4年度 10回：参加者550人
- ・令和5年度 10回：参加者433人
- ・令和6年度 12回：参加者504人

3 心のバリアフリーセミナーのその他の取り組み

共生社会の実現に向け、市内小学校において、オンライン版「あすチャレ！ジュニアアカデミー」を開催しています。

この事業は、パラアスリートを中心とした講師が、パラスポーツを通して「障害とは何か」を自分の視点で考えることを目的とした授業です。講師とのリアルタイムな対話を交えながら、共生社会の実現に向けて何ができるのかを楽しみながら理解を深めていきます。

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-25-8419）

課長 小野 篤史（内線2420）

未来戦略係長 齋藤 大輔（内線2423）

お子様と一緒に参加いただけます♪

託児あり※要予約♪

参加無料♪

「なんであの子は違うの？」 への答え方を、共に考える120分 心のバリアフリーセミナー



例えば、お子さんや身近な人から「障害とは何か、どこにあるのか」と聞かれたら、あなたはどのように答えますか？

DET(障害平等)研修を通して、その答えを参加者自身が考え、気づき、見つけ出します。

2026年

日時

2月15日 日

10:00 - 12:00

会場

子育て支援総合センター
多目的ホール

講師 DET群馬



DET(障害平等)研修とは、障害のある人自身が講師となって進行する、ワークショップ形式の研修です。

申込方法等

氏名、年齢、住所、電話番号を電話またはメールでご連絡ください。
右記の二次元コードからお申込みいただけます。

＜申込期間＞令和8年1月9日(金)～30日(金)

＜対象・定員＞30人程度(先着順)どなたでも参加いただけます。

お申込み
お問合せ

0279-25-8419

✉ mirai@city.shibukawa.gunma.jp

申込フォーム



詳細はこちら



「心のバリアフリー」とは、さまざまな心身の特性や考えを持つ誰もが笑顔で暮らせるように、私たち一人ひとりが、相互に理解を深めようとコミュニケーションを取り、相手の気持ちになって考え、行動し、支え合うことです。

令和7年度第3回市政モニターアンケートの実施結果をお知らせします

渋川市は、令和5年度に導入した「市政モニター」制度を活用し、44人の市政モニターを対象として、今年度3回目のアンケートを実施しました。37人から回答をいただいたアンケートの集計結果をお知らせします。

このアンケート結果は、各種施策の推進や計画立案などの参考資料として効果的に活用するとともに、市ホームページで公開します。

1 概要

渋川市は、市の政策や計画策定などに対する市民意見を聴取し、各種施策の推進や計画立案などの参考資料として効果的に活用するとともに、市政への市民参加の実現と開かれた市政を推進するため、令和5年度に「渋川市市政モニター」設置しました。今年度は、市内関係団体からの推薦37人と公募による7人の計44人を市政モニターに登録しています。

今回、令和7年度第3回市政モニターアンケートとして、「渋川市のこんにやく産業と消費について」、「渋川市地域おこし協力隊について」、「若者・女性・労働者の定着について」をテーマにしてアンケートを実施しました。

このアンケートの結果を報告します。

2 アンケート実施期間 令和7年11月21日～12月8日

3 アンケート実施対象

令和7年度渋川市市政モニター44人(推薦による登録・37人、公募による登録・7人)

4 回答状況 回答者：37人（20～80歳代） ※回答率：84.1%

5 アンケート集計結果

(1) 渋川市のこんにやく産業と消費について

①結果概要

- ・こんにやく製品の摂取頻度は「月に数回」が最も多く見られた
- ・好まれる製品は、板こんにやく・しらたきが中心で、こんにやくゼリーなどへの関心も一定数確認された
- ・こんにやくを消費・購入するきっかけとしては、「作りたい料理があるとき」が最も多く、健康意識や地元産であることを重視する回答も見られた
- ・生産農家が厳しい状況にあることについては「初めて知った」とする回答が最も多く、認知度の低さが明らかとなった

②主な意見

- ・日常利用と、催し等での活用の双方で、幅広い展開を支持する回答が多い
- ・学校給食や市内飲食店での活用、レシピ発信、イベントと連動した試食・即売の取り組みが支持されている

③今後の対応

- ・今回いただいた意見は、こんにやく産業への理解と応援意識の醸成、こんにやく製品の販売促進を図るための参考とします

(2) 渋川市地域おこし協力隊について

①結果概要

- ・地域おこし協力隊については、「よく知っている」「聞いたことがある」を合わせて約7割となり、存在自体の認知は一定程度進んでいる
- ・活動内容については「特に知っている活動はない」とする回答も多く、制度や成果の理解は十分とは言えない状況がうかがえる
- ・協力隊の活動分野では、観光PRやイベント関係の認知が比較的高いが、分野によって認知度に差が見られた

②主な意見

- ・イベント等を通じて協力隊と直接関わる機会があれば、認知が深まるとの意見が見られた
- ・地域課題の解決や魅力発信に一定の役割を果たしていると評価する声もあり、隊員の活動に期待が持たれている

③今後の対応

- ・今回いただいた意見を基に、今後どのような形で隊員の活動を支援・協働・活用していくか検討し、その結果を、協力隊への市民の理解を深めるための参考資料とします

(3) 若者・女性・労働者の定着について

①結果概要

- ・渋川市が行っている、若者・女性・働く人の定着に向けた制度の認知度にはばらつきが見られた
- ・仕事と、子育てや介護などの生活を両立できる環境整備が、定着に必要な条件として重視されている

②主な意見

- ・渋川市が行っている、若者・女性・働く人の定着に向けた制度があっても、「どれも知らない」という意見が約4割存在している。また、施策ごとの認知度にばらつきがあった
- ・子育てや介護と仕事を両立できる制度や、柔軟な働き方へのニーズが高い

③今後の対応

- ・今回いただいた意見は、渋川市で働き続ける・暮らし続けるために必要な条件や支援の在り方について、若者・女性・労働者の声を把握し、実態に即した取り組みへと反映するための参考とします

※詳細なアンケート結果は、市ホームページに掲載しています

市ホームページはこちらから▶



参考

1 市政モニター登録者の情報

- (1) 居住地 渋川地区 (23人)、伊香保地区 (6人)、小野上地区 (1人)、子持地区 (3人)、赤城地区 (8人)、北橘地区 (3人)
- (2) 年 齢 20歳代 (3人)、30歳代 (10人)、40歳代 (9人)、50歳代 (7人)、60歳代 (6人)、70歳代 (8人)、80歳代 (1人)
- (3) 職 業 専業主婦、自営業、会社員、パート、団体職員、会社役員、個人事業主、呉服・服地・絵画等販売業、生花販売業、土地家屋調査士法人、塗装業販売、飲食業、旅館業、農業、無職、主婦、助産師、子育て支援員、大学生、
- (4) 性 別 男性=21人、女性=16人 (推薦による登録者のみ)
- (5) 任 期 令和8年3月31日 (火) まで

2 今年度のアンケートの回答状況

- ・第1回／実施期間 令和7年6月17日～6月30日
テ ー マ ・市の生涯学習(市民総合文化祭とコミュニティ・スクール)について
・市の景観について
回答状況 回答者42人・回答率95.5%
- ・第2回／実施期間 令和7年8月22日～9月5日
テ ー マ ・市のウェルビーイングについて
・第2期渋川市過疎地域持続的発展計画の策定について
回答状況 回答者31人・回答率70.5%

3 昨年度のアンケートの回答状況

- ・第1回／実施期間 令和6年6月18日～7月2日
テ ー マ ・渋川市とハワイ郡との交流について (伊香保ハワイアンフェスティバル)
・市の農林行政の推進について
回答状況 回答者40人・回答率90.9%
- ・第2回／実施期間 令和6年9月2日～20日
テ ー マ ・新市誕生20周年について
・市の広聴事業について
・プラスチックの分別収集について
回答状況 回答者37人・回答率84.1%
- ・第3回／実施期間 令和6年10月23日～11月14日
テ ー マ ・10年後の渋川市について (第3期渋川市総合戦略)
・渋川市議会について
・市の職員の「カスタマーハラスメント対策」について
回答状況 回答者36人・回答率81.8%

- ・第4回／実施期間 令和7年1月9日～1月31日
- テ　　マ
 - ・「第2次渋川市中心市街地活性化プラン」について
 - ・渋川市地域福祉センターについて
- 回答状況 回答者38人・回答率86.4%

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：広報室（電話0279-22-2182）

室長 熊迫 徳三（内線2419）

広報広聴係長 武井 香代（内線2414）

資料6

しぶかわ推し第1弾（料理・菓子・加工品）で 新たに2品が認定されました

渋川市は、「これぞ渋川」と市内外に自慢できるモノを「しぶかわ推し」として認定しており、現在、第1弾（料理・菓子・加工品）を募集しています。
この度、SNSでの「いいね」を集め、しぶかわ推し認定審査会の審査を経て、新たに2品が「しぶかわ推し」として認定されました。
今回の認定を含めて、30品が「しぶかわ推し」として認定されています。

1 概要

「しぶかわ推し」は、市内にある地域資源や飲食物等の魅力を、新たな「市の宝」、「市民の誇り」として醸成していく認定制度です。

現在、第1弾として（料理・菓子・加工品）を募集しており、新たに2品がSNSでの「いいね」を集め、しぶかわ推し認定審査会の審査を経て、「しぶかわ推し」として認定されました。

今後、認定された「しぶかわ推し」を、市公式Instagramへ投稿したり、市公式YouTubeで配信したりするなど、市の魅力度向上と地域経済の活性化につなげていきます。



2 新たな「しぶかわ推し」（令和7年12月23日認定）

渋川ハイボール (マーキームーン・渋川)	やきめし (林屋食堂・渋川)
  渋ハイ	 

参考

1 しぶかわ推し（第1弾）の候補・認定数（令和7年12月26日現在） 応募43品（うち認定30品、候補12品、候補取消1品）

【これまでの認定品】

- ①ホルモン丼（(有)マルフクストアー）
- ②台湾まぜそば（earth cafe）
- ③伊香保プリン（プリン専門店クレヨン伊香保ファクトリー）

- ④ソースカツ丼弁当（ニコニコ亭）
- ⑤伊香保プレミアム（プリン専門店クレヨン伊香保ファクトリー）
- ⑥鮎セット（湯元茶屋）
- ⑦今川焼・うす皮極盛あんこ（かんたろう渋川）
- ⑧今川焼・お好み焼き風（かんたろう渋川）
- ⑨M o u M o u 焼き（抹茶生地カスタード）（伊香保グリーン牧場）
- ⑩ワンプレート赤城牛ハンバーグ（Cafe&DiningBar Vingtie）
- ⑪ぷるりん（ぷるりんカフェ）
- ⑫赤城田舎まんじゅう（荒井商店）
- ⑬こんにゃくから揚げ（グルメ亭）
- ⑭カボチャのクリームソースオムライス（Lita blanc）
- ⑮とんかつ定食Bランチ（渋川食堂）
- ⑯たつま定食（お食事処辰磨）
- ⑰ピーチメルバ（レストランるるど）
- ⑱プレミアムビーフシチュー（レストランるるど）
- ⑲イカ餃子（らーめんはんぐりー）
- ⑳グリーンカレー（レモングラス）
- ㉑鮎塩焼き（落合築）
- ㉒あまから団子（だんごの美好渋川店）
- ㉓アップルパイ（萩原りんご園）
- ㉔大盛ラーメン（伊勢屋本店）
- ㉕酒饅頭（中村まんじゅう店）
- ㉖ヤムウンセン（レモングラス）
- ㉗カルビスープ（うまい焼肉あおぞら渋川西店/渋川インター店）
- ㉘もつ煮定食（永井食堂）

※しぶかわ推しのホームページはこちらから▶



2 これぞ！しぶかわ推し

「しぶかわ推し」の認定品を紹介するショート動画を、渋川市公式チャンネル（YouTube）で配信しています。

※渋川市公式チャンネル（YouTube）はこちらから▶



■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：広報室（電話0279-22-2182）

室長 熊迫 徳三（内線2419）

シティブランド発信係長 坂本 和馬（内線2416）

渋川市20周年記念事業

令和7年度上毛かるた競技渋川大会を開催します

「令和7年度上毛かるた競技渋川大会」を1月18日(日)に開催します。
各種目の優勝者・優勝チームは、2月15日(日)に行われる第77回上毛かるた競技県大会に出場します。

1 目 的

児童福祉の一環として児童憲章の示す「すべての児童は、よい遊び場と文化財を用意され、悪い環境からまもられる」の趣旨に基づき、「上毛かるた」を使用して、渋川市内各地区より予選を勝ち抜いた子どもが一堂に集い、楽しく競技を行います。「上毛かるた」を通して郷土群馬についての知識と愛情を深め、郷土愛を高めることにより、青少年の健全育成に資することを目的とします。

2 日 時 令和8年1月18日(日) 午前9時30分～午後2時30分

3 場 所 子持公民館3階 ホール(渋川市吹屋380-1)

4 行事内容

(1) 開会式(午前9時30分～9時50分)

・あいさつ 渋川市子ども会育成会連絡協議会 会長
渋川市教育委員会 教育長

(2) 競技(午前9時55分～午後1時30分)

うち午前11時40分～午後0時20分は昼食休憩

(3) 閉会式(午後2時～2時30分)

※競技の進行状況により、時間が変更になることがあります

※上毛かるた競技渋川大会の参加申込期間は終了しています

(参加予定数：81人)

5 主 催

渋川市教育委員会 渋川市子ども会育成会連絡協議会

参考

渋川市子ども会育成会連絡協議会とは

市内各協議会(古巻、赤城、豊秋、金島、子持、北、北橘、小野上、南の9地区)の連携調整を図り、子ども会活動の促進・向上を図ることを目的とした組織。

現在の会員数は3,238人。

■問い合わせ先

教育部 部長 西脇 正悟（内線4930）

担当：生涯学習課（電話0279-22-2500）

課長 照井 智子（内線4950）

青少年係長 狩野 美菜子（内線4952）